

# 問題解決の手順と方法

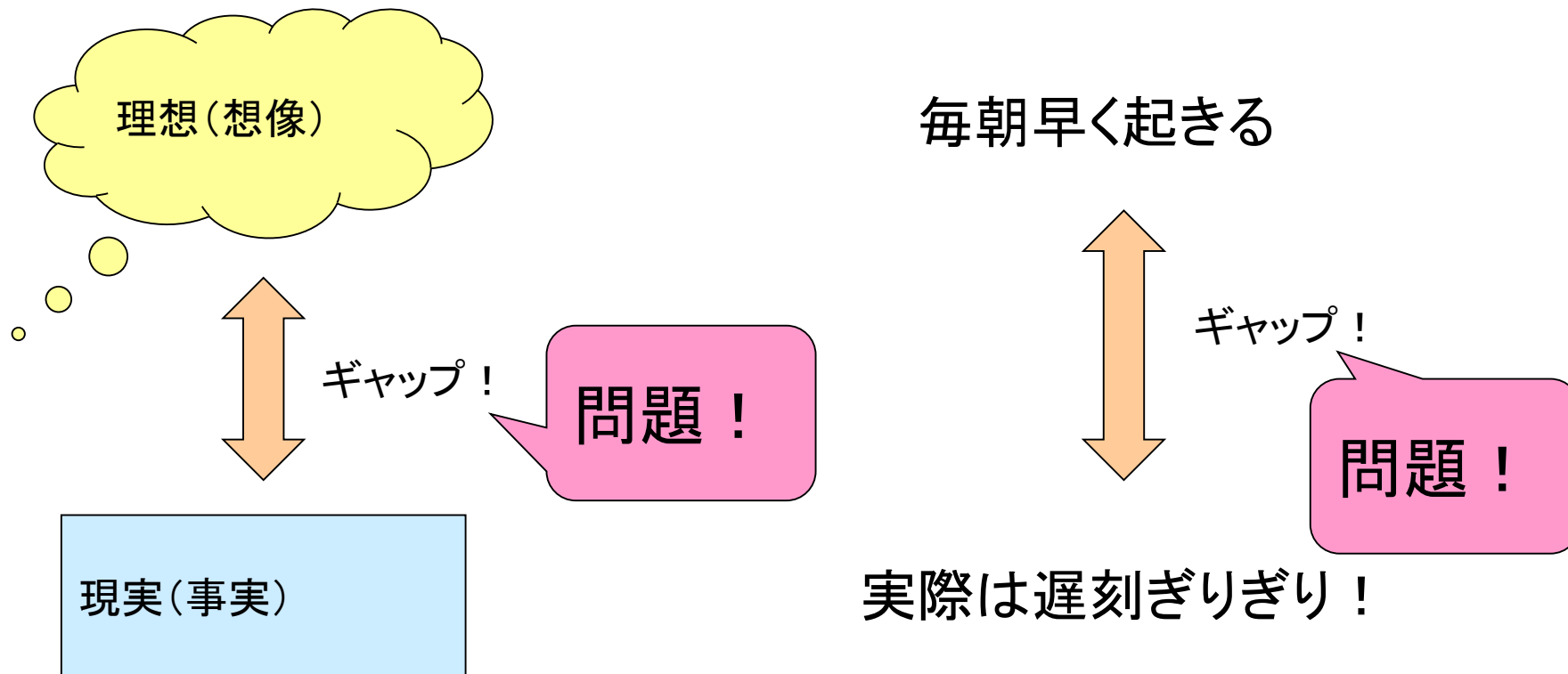
情報の科学 第5回授業

02情報社会の問題解決

対応データ 21exp05.xlsx

# 「問題」とは(教科書P92～)

- 「問題」とは  
理想と現実との「ギャップ」



# 演習1:「理想」と「現実」を考える

簡単な「理想」と「現実」を考え書いてみよう。

例えば、

**理想:** 朝早く起きる

ここに2行くらいスペースを空けておいてください。  
(理由は後ほど…)

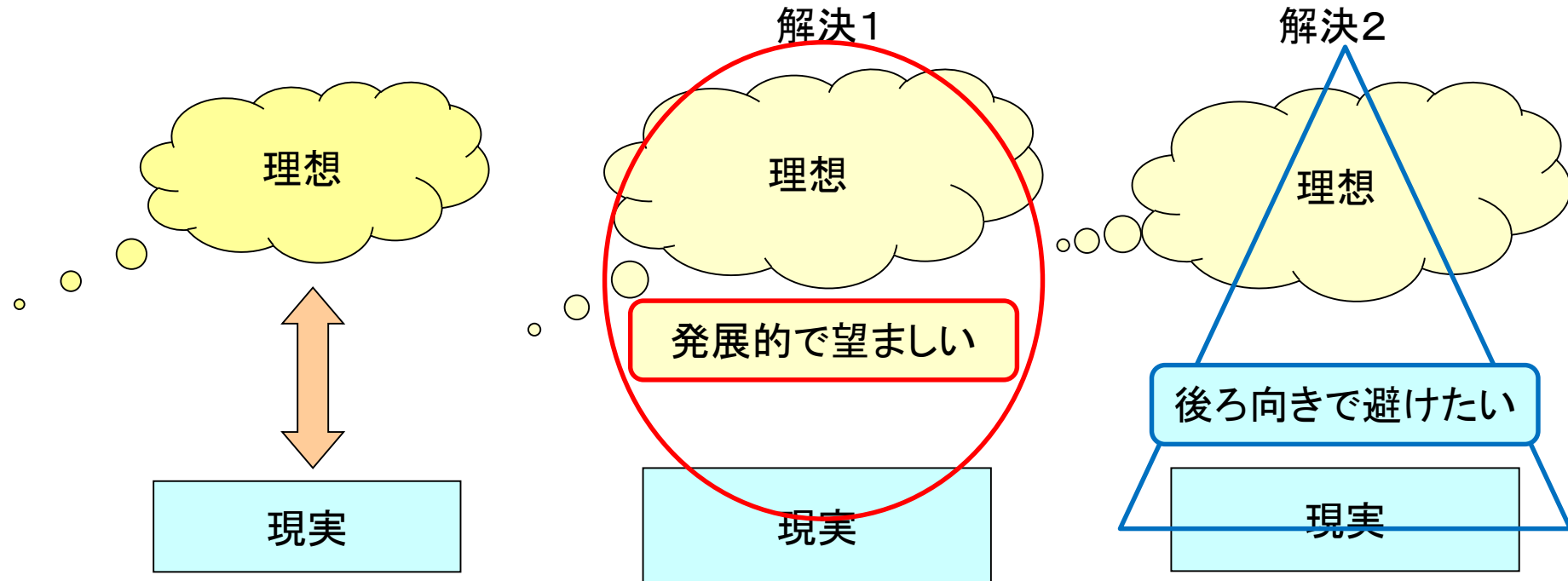
**現実:** 実際は、遅刻ギリギリに起きる

単純なことで結構です。できるだけシンプルに。

# 「問題」を「解決」する

## 「問題解決」

・・・「理想」と「現実」のギャップを埋めること



「現実」が「理想」に発展する「良い問題解決」を！

# 問題解決のためには

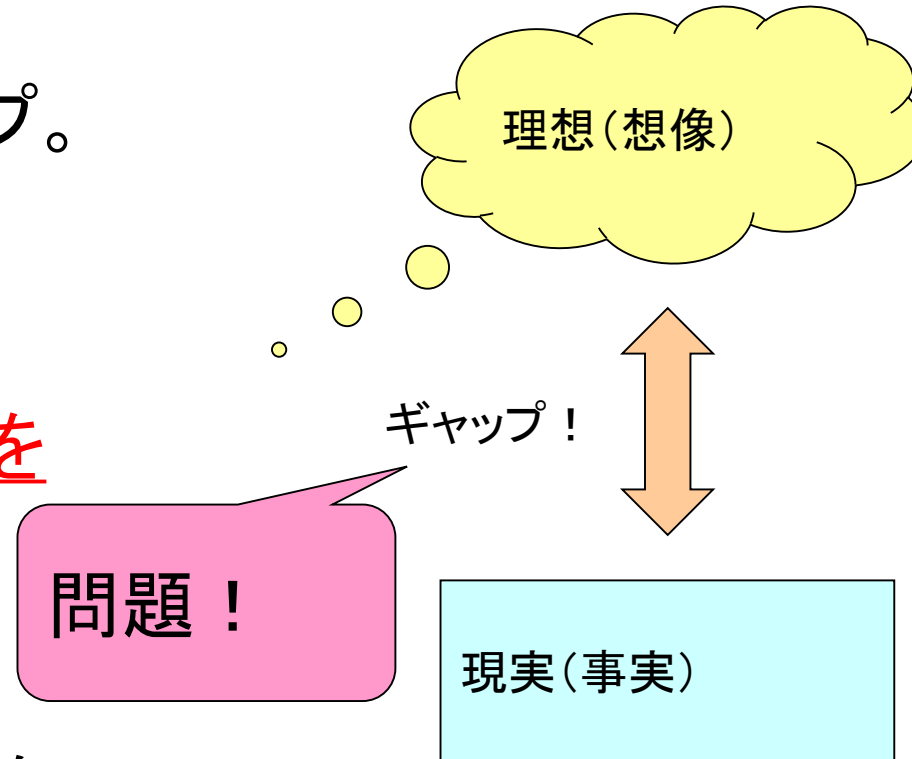
- 「問題」とは理想と現実とのギャップ。



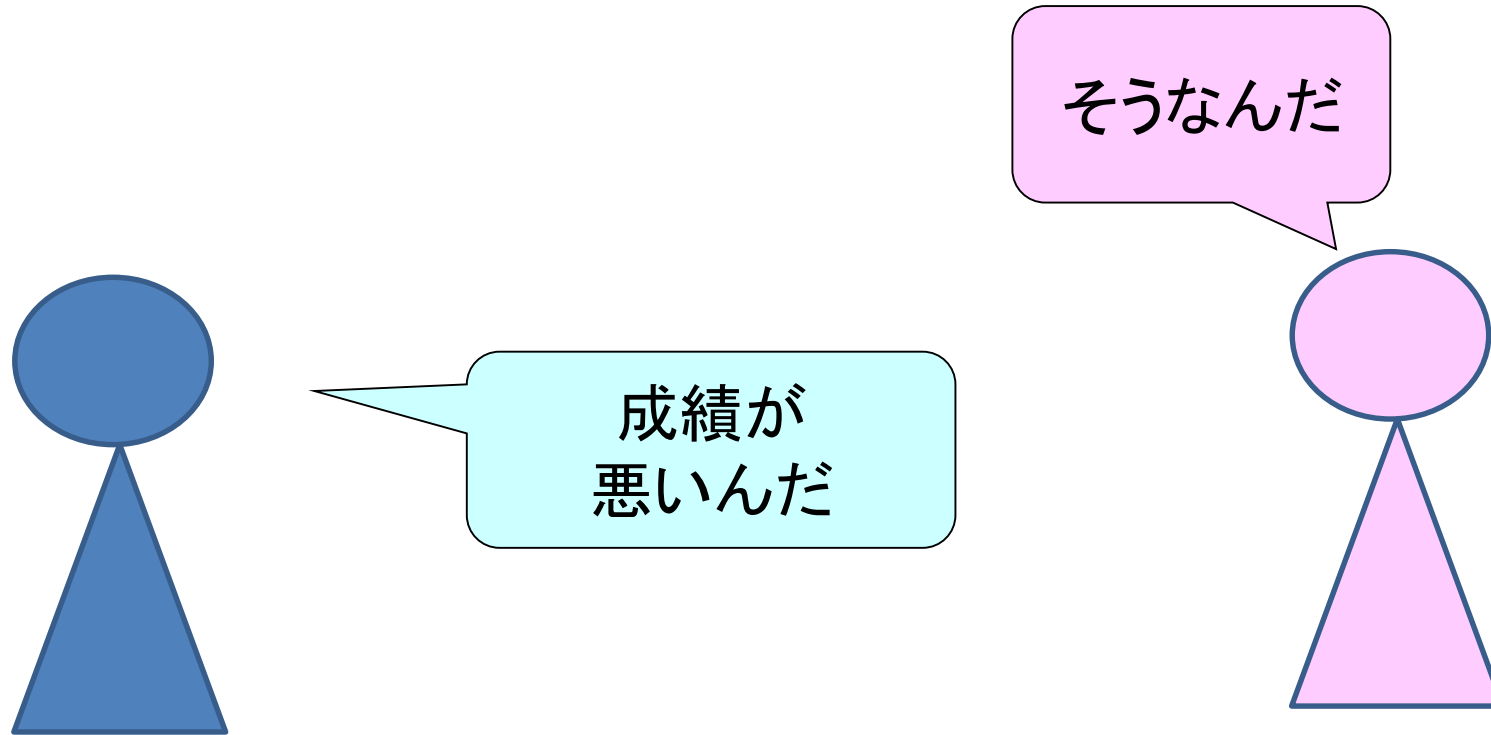
- 問題「解決」とは理想と現実のギャップを埋めること。



まずは、「理想」と「現実」を明確化しよう！！

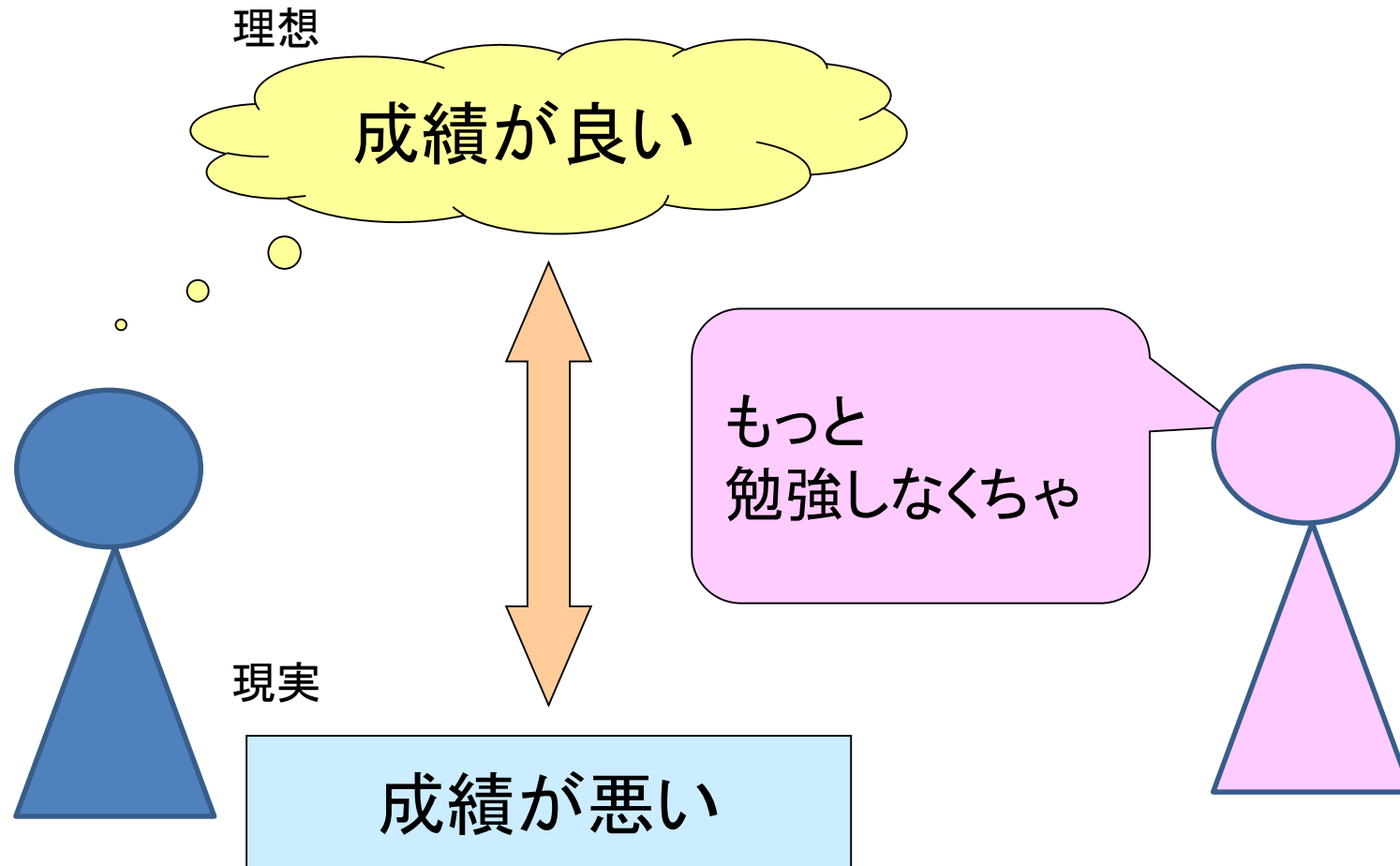


# 例えば



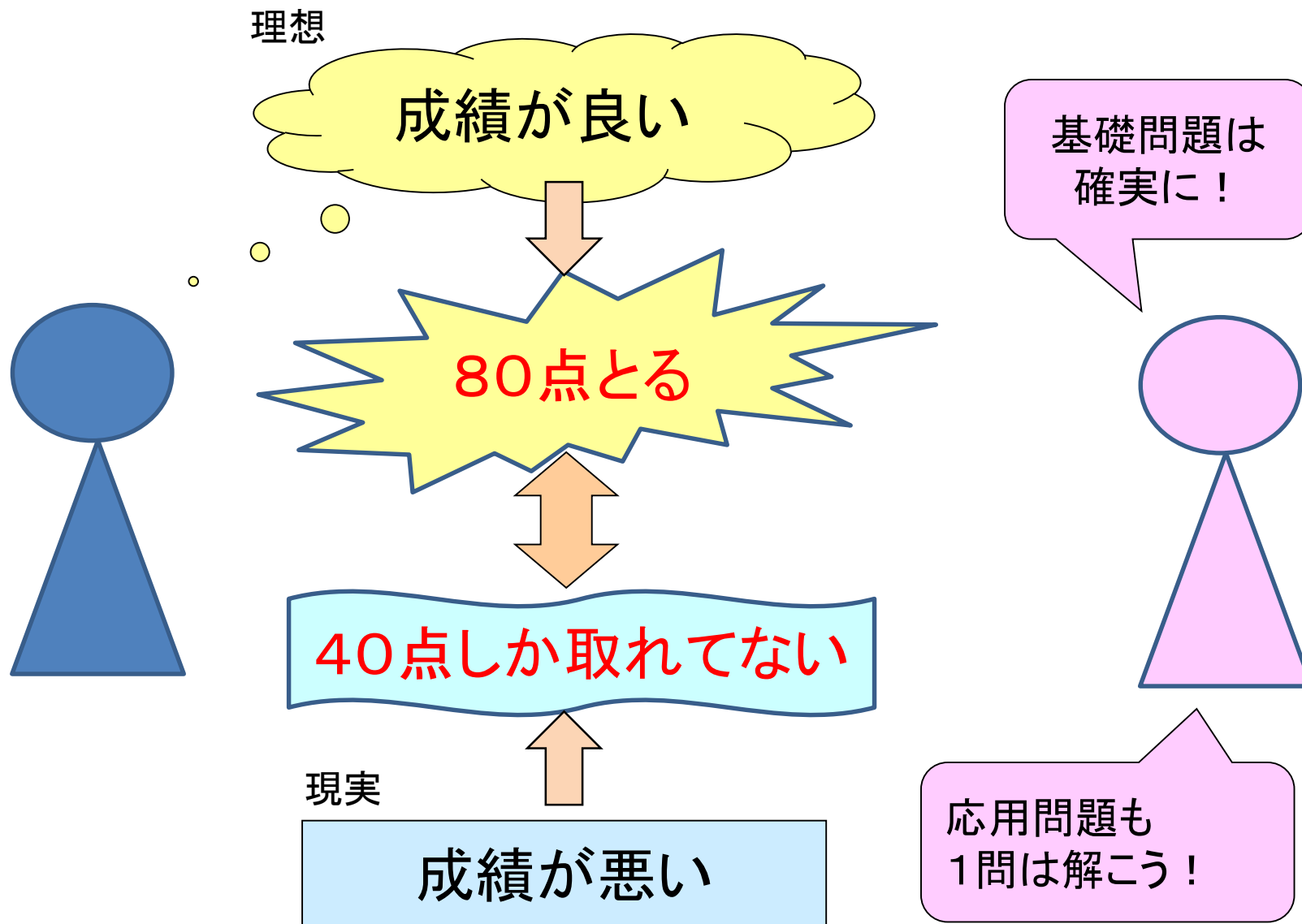
「理想」と「現実」を明確化しないと、「そうなんだ」としか言えない  
「そのままでもいいや」と思ったら、「問題」にすらならない

# 例えば



「理想」と「現実」があるので、「問題」と言えるが、  
解決案としては、どうしても抽象的なものしか……

# 「理想」と「現実」が具体的であるほど 解決策も具体的に考えられる





# 演習2: 具体的な「理想」と「現実」

例)

理想: 朝早く起きる

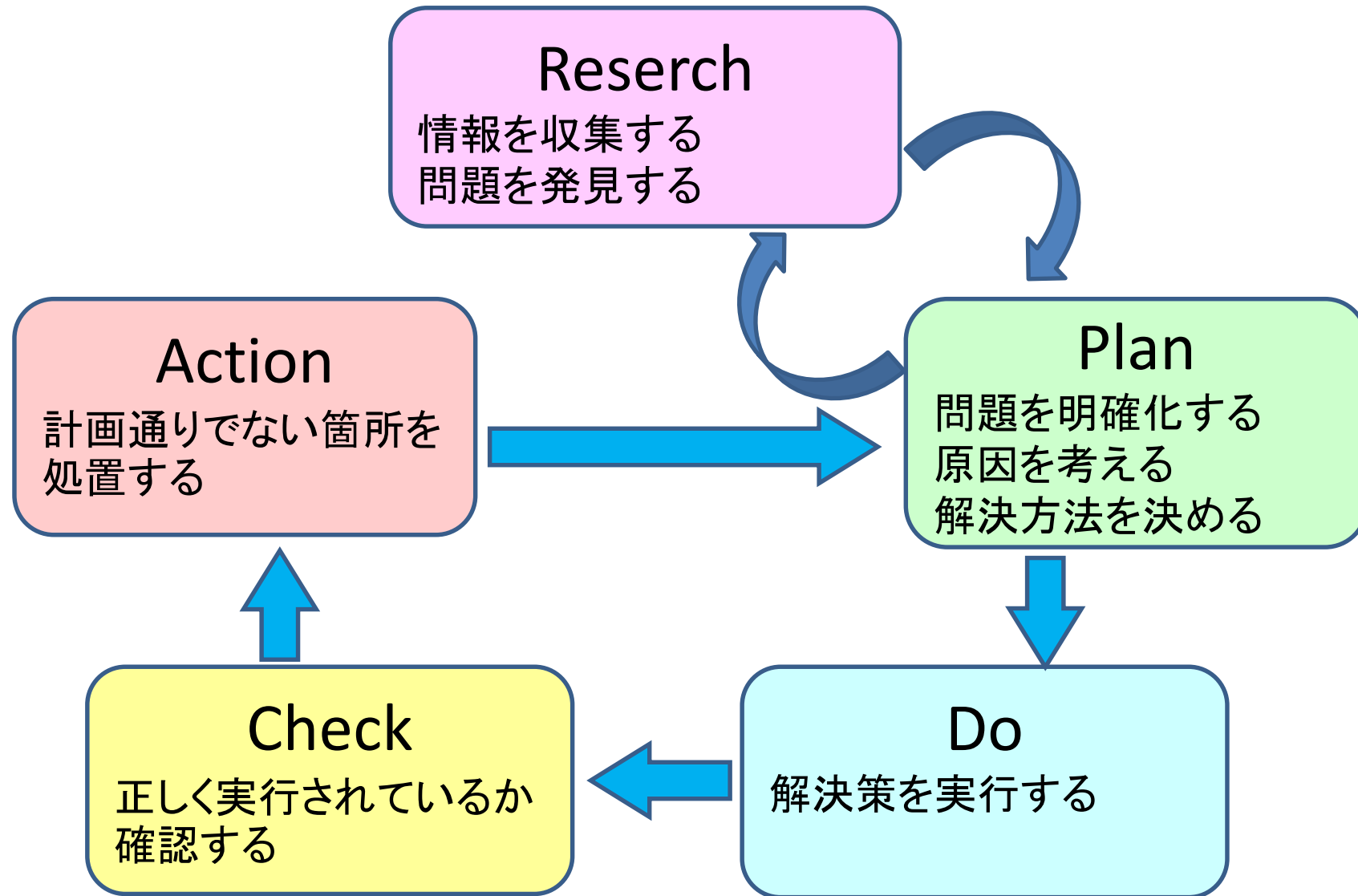
この部分を  
考える!

具体的な理想: 毎朝6時に起きる

具体的な現実: 実は7時に起きる

現実: 実際は、遅刻ギリギリに起きる

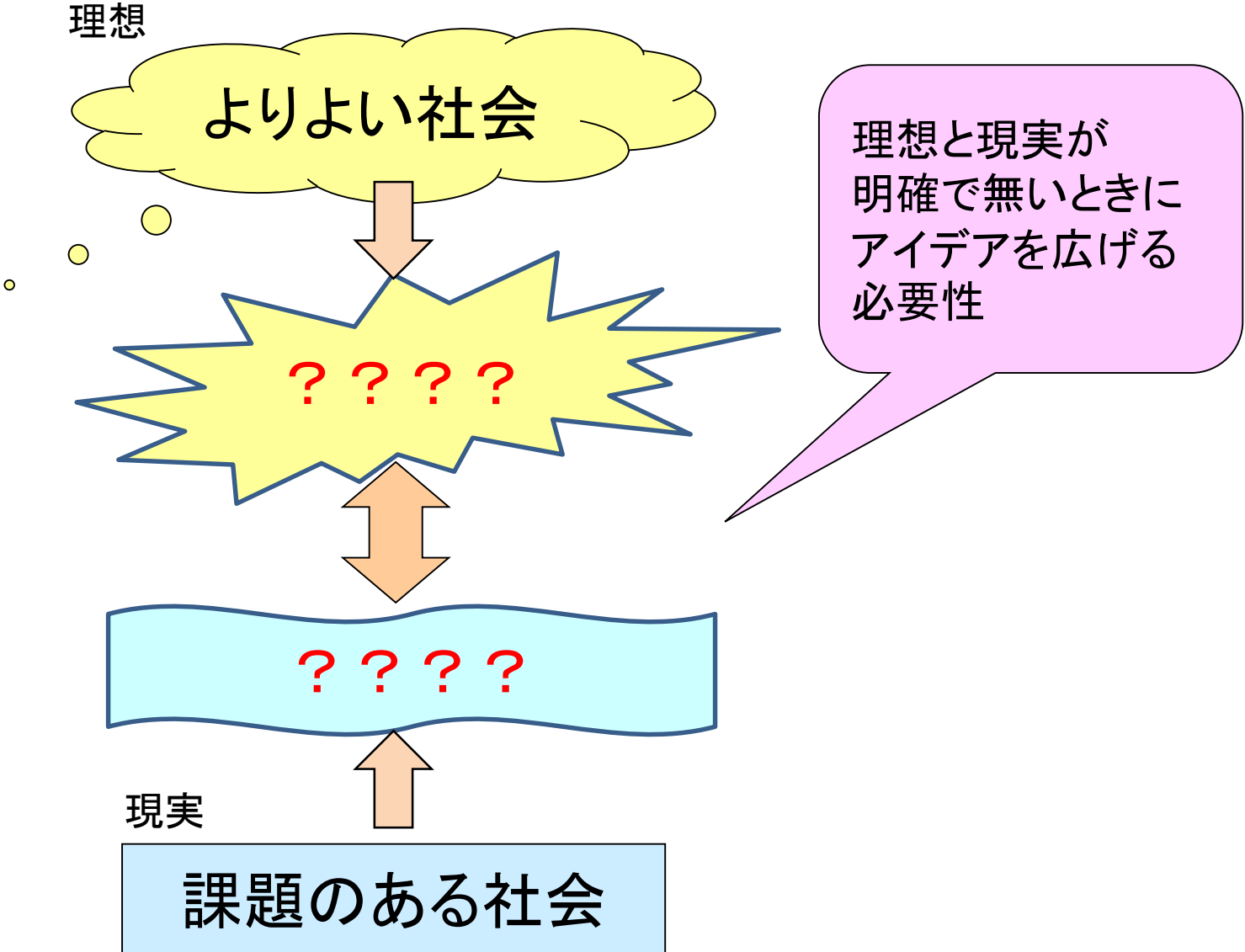
# より良い問題解決のために(P.93)



# Reserch と Plan の重要性 (p.93)

- 良い問題解決
  - 問題の明確化(「理想」と「現実」が明確)
  - 原因を分析、情報収集
  - 解決策の検討と評価
- やみくもな問題解決
  - 「とにかくがんばる」
  - 問題の明確化、原因の分析が不十分
  - 「がんばったんだけどなあ・・・」

# 問題発見・問題の明確化に向けて



# 問題発見と整理について(予習)

- 1 幅広くアイデアを広げ、まとめる(広げる)
  - フレームワーク、ブレインストーミング
  - アイデアカード
- 2 原因をより深く考える(なぜなぜ)
  - ロジックツリー、連関図、特性要因図
  - IE図
- 3 解決策をより具体的にしていく(どうすれば)
  - ロジックツリー、特性要因図
  - IE図

# アイデアを広げるための方法

## トレーニング① フレームワーク

あえて枠組みなどの「切り口」を考え、その中で思考する。

例1)「封筒」の使い道を考える。(本来的でなくても良い)

- 本来的な使い方は・・・
  - 郵使用、書類を保護(汚さない)、一つにまとめ整理する、・・・
- 大きさ、形に着目すると・・・
  - 鍋敷として、定規として、縁をカッターとして、・・・
- 材質に注目すると・・・
  - ノート代わりに、小さく切ってメモに、折り紙、ティッシュ代わり、・・・
- 複数集めて・・・
  - 枕として、掛け布団、・・・

などなど

# 練習0(2分)

「鉛筆」の使い道をできるだけ具体的に考えよう  
(例: 字を書く)

ワークシートにできるだけたくさん記入する

# 本日のまとめ

- 「問題」とは・・・
  - 理想と現実とのギャップ
- 人によって、「問題」となったりならなかったりする場合がある
- 「理想」と「現実」を具体化することが大切
- 問題解決の代表的な流れ・・・
  - PDCAサイクル、特に大切なのは・・・
  - 「Plan」の段階をしっかりと！
- アイデア（見方・考え方）を広げる必要性